

11月  
5日  
月曜日

ゼカリヤ 4:1~10

ついでに私に次のような主のことばがあった。「ゼルバベルの手が、この宮の礎を据えた。彼の手が、それを完成する。このとき、あなたは、万軍の主が私をあなたがたに遣わされたことを知ろう。」(8~9)

いのるとき

ある宣教師が強盗に会ってお金を奪われました。ところが、しばらくしたあとに、強盗がお金を戻して福音も聞いたのです。なぜそうなのか尋ねたところ、強盗がお金を奪ったあとに、立ち去ろうとしたのですが、銃を持った軍人が立っていたということです。ちょうどその時間に、宣教師を派遣していた韓国の教会の信徒が集まって宣教師のために祈っていたということでした。祈りの力は本当にすごいですよ！

イスラエルの民がバビロンに捕虜で引きずられて行って、70年後に戻ってきました。そのとき、神様はゼカリヤ預言者を通してイスラエルに重要なことを言われました。第一に、世の中のすべての問題を解決するメシヤ(キリスト)を送ると言われました。二つ目に、万軍の主である神様が御使いを送って助けることを言われました。三つ目に、人の力や努力でできるのではなく、聖霊によってできると言われました。いま、イスラエルの民とレムナントはどのようにしなければならいのでしょうか。イエス・キリストを送られた神様のみことばをゆっくり読んで、なぜ神様がこのみことばをくださったのか質問してみてください。キリストで、とても大きな力を得るようになるでしょう。

3 Today

きょうのみことば

114

11月5日 114  
みことばをよもう。

きょうのいのり

きょうの でんとう

☐☐☐ ていこくはんにせいこうした  
チェツルよう



パク・ウヨンぼくしふじん!  
なやみがあります!

「子どもの祈りの手帳」をしたいのに、つい遠ざけるようになります。なぜでしょう。  
シム・ソヨン(イエウオン教会)

多くの人がこういう悩みをしても、話すことができないのに、ソヨンちゃんが勇気をもって認めたことに感謝します。「子どもの祈りの手帳」で黙想できない理由は、いろいろです。最初に、霊的なことに関心がないからということがあります。十字架と復活が本当に私のためのことだと信じられなかったり、みことばの力がどの程度なのかよく知らないためでしょう。

二つ目に、霊的なことに関心はあるのに、みことばを黙想する方法をよく知らなくて起こることもあります。ソヨンちゃんは、どちらでしょうか。自分を点検してみなければなりません。もし霊的なことに関心がたりないならば、神様に恵みを求めて祈らなければなりません。イエス様の十字架と復活が自分のためのことだと信じられるように心から祈ってください。(エレミヤ 29:13) 黙想する方法を知らなかったり、みことばを記録することが習慣になっていないならば、なぜ神様が今日のみことばを読むようにされたかを質問してみましょう。しばらくは文で記録しなくても良いです。思い出せるまま心に込めているみことばをひとことずつ記録すれば、少しずつ深く考えられるようになるでしょう。

みことばをかならず成し遂げられる神様を心から信じて、神様に祈ることができる信仰の人になりたいです。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



マラキ 3:6~12

十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。一万軍の主は仰せられる—わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。わたしはあなたがたのために、いなごをしかって、あなたがたの土地の産物を滅ぼさないようにし、畑のぶどうの木が不作とならないようにする。一万軍の主は仰せられる—すべての国民は、あなたがたをしあわせ者と言うようになる。あなたがたが喜びの地となるからだ」と万軍の主は仰せられる。(10~12)

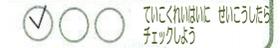
ただしい れいはいと けんきん

「病気になって死にそうな羊がいるのか？それなら、ささげ物にしよう。祭司長も知らないふりをしてください」  
旧約時代の人々は、礼拝のときごとに自分の罪の代わりに殺す傷のない犠牲のささげ物を持っていかなければなりません。ところが、祭司と民が財産もつたいないと、病気になった家畜を持っていったのです。神様のものである十分の一を出しませんでした。それは神様のものを盗んだのと同じです。

私たちにもこういう姿がないがよく見てみなければなりません。犠牲のささげ物は、小羊であるイエス・キリストを意味します。イエス様が十字架で私たちのすべての罪とのろいを解決されたので、犠牲のささげ物を礼拝の時ごとに持って行かなくてもよいのです。そのかわり、イエス・キリストが成し遂げられたことを思いながら、神様に感謝と賛美で礼拝をささげます。日曜日だから、またはママにしかられるかと思っただけで礼拝をささげたら、病気になっているささげ物をささげるために持って行ったのと同じです。自分のためにはお金をふんだんに使うのに、献金はもつたいないと思うお友だちはいませんか。献金の中には神様に対する私の信仰と感謝が含まれています。献金は伝道と宣教に使われて、神の国を成し遂げます。神様にささげる喜びを味わうように祈ります。

3 Today

きょうのみことば  
きょうのいのり  
きょうの でんどう  
いん115  
いん115



わたしたちが だすじゅうぶんのいち は いつから はじまりましたか

契約の先祖アブラハムは、とてもお金持ちになりました。アブラハムは、神様の働きをまかされた祭司

メルキゼデクに祈りをたのみました。メルキゼデクはアブラハムを祝福しました。「祝福を受けよ。アブラム。

天と地を造られた方、いと高き神より。

あなたの手に、あなたの力を渡された

いと高き神に、誉れあれ。」

アブラハムは、自分が得たものの

十分の一をメルキゼデクに与え

ました。これが聖書に出てくる

最初の十分の一です。

(創世記14:1~20)

ヤコブの12人の息子が

イスラエルの12部族になりました。

その12部族が土地を分けて持ったのです。

しかし、神様に礼拝をささげるレビ族は、

土地を持って仕事もできません。神様にだけ

完全に礼拝をささげなければならないためです。

それで、11部族が土地を分け持って、自分

たちの得たものの中から十分の一を

レビ族に与えたのでした。

イエス様がなされたことを考えて、感謝があふれる礼拝をささげたいです。神様にささげる喜びを持ちたいです。イエス・キリストのお名前によっていのりします。アーメン

11月

7日

水曜日

### 創世記45:1~8

それで神は私をあなたがたより先にお遣わしになりました。それは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによってあなたがたを生きながらえさせるためだったのです。だから、今、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。神は私をパロには父とし、その全家の主とし、またエジプト全土の統治者とされたのです。(7~8)

## めを ひらこう

私たちの周辺には救われていない友だちがたくさんいます。友だちと遊んだりゲームをするだけで楽しくすごそうしていませんか。そうでなければ、友だちとの関係がうまくいかなくて、葛藤していませんか。ヨセフは、もっとも大変な現場でもいのちを救おうとする神様の契約をのがしませんでした。すべての苦しみ、葛藤を「ああ〜!いのちを生かそうとして私を送られたのだな!」と悟りました。

具体的にどのように友だちを生かせるのでしょうか。友だちが私を見ながら「神様は本当に生きておられるんだな!」と感じれば良いのです。神様のみことばが成就して、神様の力が現れたら、ヨセフのようにとてもかっよく刈り入れする働き人になることができます。もう目を開けましょう。私がある所がまさに刈り入れ(収穫)の現場だという事実を見る目!私 がまさに残った者だという事実を見る目!神様は必ずみことばを成し遂げられるという事実を見る目!この目を開いたレムナントが学校に行けば、神様がともにおられる証拠が現れるでしょう。神様がくださった目をパッと開けるレムナントになりましょう~!

### 3 Today

きょうのみことば

116

いのち1しゅう かみさまのみことば よもほ!

きょうの いのり

きょうの でんどう

キム・ナンハぼくしせんせいとともに

## もやもや なやみを はなそう

友だちとの関係が、とてもぎこちないです。友だちとよくする方法はありますか。  
クオン・ヘジン  
(ボハン・イエウォン教会)

自分の立場だけで、友だちを見ているのではないですか。あるいは誤解がうまれたのではないですか。それなら、心の門を開いて、先に手を差し出してみてください。友だちが自分にすぐに近づくことができないならば、レムナントがまず近づくなければなりません。牧師先生もレムナントのお友だちのように、友だちとの関係がぎこちない時がありました。ところで、私のアイデンティティを知って、神様と祈りでお話したら、力が出てきました。心の門を開いて考えを変えて、友だちと少しずつなかよくなりました。

このようなときは、私の心と考えを変える時間だったのです。とんがって、弱い性格を変える大切な機会だったのです。レムナントの友だち、神様と霊的に話しながら内なる力を大きくしてみてください。

今、この時間がとてもよい時間であることを知るようになるでしょう。ファイト!

重要な目を開いて収穫する働き人として生きたいです。ヨセフのように、重要な事実を見る目を開いてください。私を通して友だちが神様を見ることができまますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン





マタイ 16:13~20

イエスは、彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」(15~16)

### はだんにも ぶくいんをおぼえていよう

海の水が分かれて、かわいた地面があらわれて、イスラエルは力強く走ったり歩いたりしながら海の道を渡りました。いよいよ、イスラエルの民がエジプトのパロ王の手から完全に救われたのです。あちこちから喜びの叫びの声が出てきて、神様をほめたたえる歌声が天と地に鳴り響きました。そのとき、神様は過越祭、五旬節、収穫祭のことを言われて、この喜びと感激を忘れないでいなさいとおっしゃいました。しかし、イスラエルの民は、神様の約束を忘れて偶像に仕えて、大きい苦しみにあいました。とても残念なことです。どのようにしたら、このような失敗に陥らないでいられるのでしょうか。3つの祭りを覚えて、普段にイエス・キリストがだれなのかを忘れなければ良いのです。

①過越の祭り「私はイエス・キリストの御名ですべての罪をゆるされた神様の子どもです。サタンと地獄の鎖から永遠に解放されました」②五旬節「聖霊の神様が私を導きながら力をくださって、永遠に責任をとってくださいます」③収穫祭「全世界に福音が宣べ伝えられます。神様は私を通して福音をあかしされるでしょう」

### 3 Today

きょうの いのり

きょうの でんどう

きょうのみことば

16:11-18

いのち 1しゅう かわさのりこ

ていこくしんがにせいのうたをうたう

## われをもすくいし

さんびもくそう1



1. われを—も すくい しく しき—めぐみ—
2. おそれ—をしんこうにか え—た—まいし—
3. くるし—み なやみもく しき—めぐみ—
4. こ の み—は おとろえよ をさ—るとき—



まよ—い—しみも—い—またちか—えりぬ—  
 わが—しゆのみめ—ぐ—みげにと—うとし—  
 きょう—ま—でまも—り—ししゆにぞ—まかせん  
 よろ—こ—びあふ—る—るみくに—にい きん アーメン



この賛美の詩はジョン・ニュートン牧師が54歳のときに作った詩です。ニュートン牧師は、アフリカ奴隷を売り買いするとても悪い生活をして、放蕩してめちやくちやに生きていました。しかし、悔い改めたあと、主の驚くべき恵みを発見して、感謝の告白をこめた詩を書いたのです。こんにちでも「Amazing Grace」として歌われています。私の罪のために死んで、私を罪人ではなく、神様の子どもにしてくださいました。神様の恵みをいつも覚えてほめたたえるレムナントになるように祈ります。

文・子ども賛美作家 チェ・スジン 講師

今日、私 がしなければならぬ小さなことにも福音を考へて、イエス・キリストのお名前前で祈って生活したいです。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

11月  
10日  
土曜日

おはなし もくそう

# べんきょう～！むずかしく ないよ～！

学校にはじめて来たサトウ先生は、子どもたちをだれよりも愛していました。でも、問題だと言われる子どもたちだけを集めたクラスの担任にされたのです。先生は子どもたちに重要なことを教えなければならないと決心しました。ガラガラと教室のドアが開きました。

子どもたちはキラキラした目で先生をながめました。先生は子どもたちの目が非常にきれいだと思いました。しかし、授業が進むほど、子どもたちの行動にあまりにも失望しました。同じように勉強をしても、問題集を解いても、早く終わらせる友だちがいて、次の時間がすぎてしまっても、終わらない友だちがいたからです。一度、本を持ったら、まったく身動きひとつしないで見ている友だちがいる反面、少し本を見て別の考えをしておしりをふらふら持ち上げる友だちも見えました。先生は子どもたちに、勉強よりさらに重要なことを教えてあげたかったのです。

「みんな、いろいろな考えをして勉強に集中しようとしても、むずかしいでしょう。落書きもしたくて、学校が終わったらおいしいおかしを買って

食べたいし、友だちとゲームもしたいでしょう。」

ごたごたしていた教室の子どもたちが、急に先生のことばに集中しました。

「アインシュタインという科学者は、みんなよりもっと勉強ができなかった問題児でした。しかし、アインシュタインはどのようにして、世界最高の物理学者になることができたのでしょうか」

「なに？なに？」

あちこちから質問が飛んできました。

「まず、落ち着かないこのクラスをきれいにそうじをして、今日あったことを日記帳に書くのです。そして、今日学んだことの中でいちばんむずかしかった部分を読みます。このようなよい習慣は、集中力を育ててくれるので、勉強ができなくて、頭がよくなくても、りっぱな人になることができます。しかし、アインシュタインもできなかったことをすれば・・・」

「なに？なに？」子どもたちの目ももっとピカピカしました。

「一日に1分でも、イエス・キリストを見上げることができるなら、神様がすべてのことの責任をとってくださいます！」

## 3 Today

きょうのみことば  
 いん119  
いぬに 1しよつ かみさまのみことばを よもう！

きょうの いのり

きょうの でんどう

ていこくはんに せいこうしたる チェックしよう

